

# 事業計画書

自 令和5年4月 1日  
至 令和6年3月31日

公益財団法人 出羽庄内国際交流財団  
鶴岡市伊勢原町8-32

# 令和5年度 事業計画

## はじめに

本市の外国人登録者数は、令和4年12月末現在789人（前年同期比103人増）で、国別では、①ベトナム201人（同12人増）、②中国174人（同9人減）、③フィリピン100人（同32人増）、④韓国・朝鮮61人（同1人増）、⑤インドネシア53人（同29人増）などとなっています。コロナ禍前よりは、まだ減少しておりますが、今後のコロナ感染拡大防止が進み、渡航制限解除などにより、徐々に回復が見込まれます。

本市におきましては、新型コロナ感染が収束するにつれて、地域や国、人種を超えての交流が増加すると予想され、各企業等における技能実習生の増加に向けた取り組みや、インバウンド観光の推進などに取り組んでいるところですが、新型コロナウイルス感染防止に向けた「新しい生活様式」の実践に努め、受け入れ体制の十分な対策と、支援制度の周知とその活用が進められております。

令和5年度は、このような状況や動向を踏まえ、情勢分析を行い、財団として今後の担うべき役割、施策等について認識を強め、国際感覚豊かな人材の育成や地域住民と外国出身の住民が、ともに理解し安心して暮らせる多文化共生の地域づくりに向け、①「多文化共生」、②「国際理解の促進」、③「国際交流の促進」を主要な事業項目として、国際交流団体やボランティアをはじめ、多くの住民の方々と連携、協調を図りながら各種事業を実施して参ります。さらに、専門的人材を配置し、庄内地域の中核的機能とされる国際交流センターとして、在住外国人のコロナ禍における生活各方面（医療、福祉、雇用）での課題や不安の解消に向け、行政、企業、各団体等と連携しながら相談機能を充実して参ります。

具体的には、昨年度鶴岡市とともに作成した防災ハンドブックを周知に加え、地域と連携した防災訓練などに活用を図るよう推進して参ります。

さらに、鶴岡市が「国際化推進プラン」（仮称）を策定することから、国際理解や多文化共生事業の中において、ニーズに沿いながら、課題解決できるよう連携しながら事業を進めて参ります。

## 1. 国際交流促進事業

### (1) 交流イベント開催・支援

各国際交流関係団体、ボランティアの方々とともに、国際村を会場に各種交流イベントを実施する。

#### ○ワールドバザール

国際交流関係団体を中心に実行委員会を立ち上げ、様々な国や地域の料理や雑貨の販売、ステージ発表を行い地域在住の外国出身者と住民との交流を促進する。

#### ○出羽庄内国際村音楽祭

普段聴く機会の少ない民族音楽などを紹介するコンサートを開催する。

#### ○新年を祝う会

日本語教室の指導ボランティアと学習者を中心に各種新年行事を行い、国際村を利用している在住外国人・主催各講座の講師・受講者・支援する地域住民等の交流を図る。

### (2) 交流事業の実施・支援

○財団設立30周年になることから、これまでの事業を振り返りながら、関わった多くの個人団体の方々と、節目を迎えたことを喜び、記念事業を実施する。

#### ○コロラド州中高生訪問団の受入れ（双方のコロナ終息後の安全確保条件）

コロラド州中高生訪問団については、ホームステイ等を通して地域内での国際交流を深めるために、先方の方針や新型コロナウイルス感染の終息を見据え、随時の情報提供等行うものとする。

#### ○地域留学生ホームステイ/ホームビジット事業

県内の高等教育機関に在籍する留学生を対象に参加者を募集。出羽庄内国際村に登録しているホストファミリーとのマッチングを行い、季節の行事やホームステイなどで、市民とともに体験事業、交流を図る。

### (3) 国際姉妹・友好都市等との交流の促進

国際姉妹都市ニューブランズウィック市（アメリカ・ニュージャージー州）、国際友好都市ラフォア市（フランス領ニューカレドニア）と本市との友好協会、それに鶴岡田川地区日中友好協会の事務局業務を担い、それぞれの協会の一層の充実とともに、市民レベルでの交流促進を図る。

※ 鶴岡・ニューブランズウィック友好協会（佐藤公力会長）

1983（昭和58）年5月 設立

鶴岡・ラフォア友好協会（黒井秀治会長）

1992（平成4）年10月 設立30周年経過

鶴岡田川地区日中友好協会（皆川治会長）

1982（昭和57）年12月 設立40周年経過

## 2. 国際理解促進事業

### （1）外国語講座の開講

新型コロナウイルスの感染状況を踏まえながら、必要に応じてオンライン講座への切り替えも想定し実施する。

#### ○語学講座

英語、中国語、韓国語、フランス語の外国語講座においては、それぞれテキスト等による語学習得に加えて、外国出身の講師と実際に交流することにより、その国や地域への理解を深める。

#### ○フリートーク型講座

英語、中国語、韓国語、スペイン語、フランス語のフリートーク型の講座を開講する。

#### ○外国語短期講座

普段習う機会の少ない外国語の講座を通し、外国出身の講師と交流をきっかけとして、言語やその国・地域への興味を持つとともに理解を深める。

#### ○中国語特別講座

中国語圏出身の人たちと様々な活動を行い、生活の中で使う生きた中国語を学ぶとともに、文化や習慣への理解を深める体験型学習を実施する。

#### ○英語特別講座

英語圏出身の方を講師に迎え、生活の中で使う生きた英語を学ぶとともに、文化や習慣への理解を深める講座を実施する。

### （2）国際理解講座等の開催

#### ○ワールドコミュニケーションクラブ活動の推進

英語やいろいろな国との交流に興味がある中・高・高専生を対象に開催

#### ○せかいの台所（料理教室）

#### ○太極拳体験講座

#### ○その他国際理解に資する事業の実施

◇フレンドシップサロンの開催

◇中学校・高校・大学の職場実習・研修等の受入れ

(3) 小・中・高校生向け国際理解講座等開催支援

国際理解、国際交流についての各学校の授業に対して、人材、内容、情報の提供やサポートを実施する。

(4) コロラドスタディツアーの実施（情報共有のみ）

ワールドコミュニケーションクラブ会員をはじめ、地域の中学生・高校生から社会人までを対象とした訪問団を山形県の姉妹州であるアメリカ・コロラド州に派遣し、ホームステイ等を通して地域の青少年の国際感覚の育成、英語実践力の向上、国際理解を深めるための派遣事業については、新型コロナウイルス感染の終息を見据えながら、5年度は準備を行い次年度以降の交流に向けた情報共有することとする。

(5) オンライン世界ツアーの実施

令和3年度に始まったこの事業は、鶴岡市及び当財団の事業に縁のあった方から、現地の住まい、気候風土、飲食等について紹介してもらい、疑似体験旅行しながら国際理解を深める機会とするもの。5年度も同様に実施する。  
ツアー実施国：メキシコ、バングラデシュ、中国、シンガポール など

### 3. 多文化共生促進事業

(1) 日本語教室運営支援事業

国際村日本語教室の運営支援及び日本語指導ボランティアの研修事業実施への支援を行う。

○日本語教室概要

指導者：日本語指導ボランティア41名（令和5年2月末現在）

学習者：112名

会場：出羽庄内国際村（月曜（休館日）以外の全ての曜日）  
          ここ・ふる、アートフォーラム（冬季）

その他：新型コロナウイルス感染拡大の場合や冬期間、会場まで通えない学習者に対しては、オンライン講座開設するなどして学習の継続に努める。

○地域行事参加研修事業

庄内地域の祭事や行事に参加し、日本文化を体験する。  
（花見、地域運動会など）

○日本語スピーチコンテスト実施事業

庄内地域の国際交流関係機関・団体、日本語教室等と連携し、庄内在住の

外国出身者による日本語スピーチコンテストを実施する。

○日本文化体験講座の実施

「器の会」（日本家庭料理教室）、茶道体験

○日本語指導ボランティア研修講座の実施

(2) 生活相談業務実施事業

○国際交流専門員の配置による相談窓口開設

いつでも携帯電話で相談受付（英語・中国語・韓国語・日本語）

○コミュニティ通訳派遣事業

必要に応じて、医療、司法、行政、教育などに関する通訳を「コミュニティ通訳」登録者から派遣し、外国出身者が言語の違いによる障壁なく、速やかに行政サービスを受けることができる体制を整える。

○コミュニティ通訳ボランティアの養成

通訳の養成と技術向上のため、英語、中国語、韓国語の各グループによる自主勉強会等を継続して行うとともに、全体研修会を実施し翻訳やコミュニティ通訳の専門家らから技術等を学ぶ機会を設ける。生活に関わる内容だけでなく、庄内の観光に関する通訳・翻訳も勉強会の内容として取り入れる。

○災害時の通訳ボランティアの役割や運営を想定した研修会の開催

○公的文書、用務の翻訳及び通訳

○各分野での通訳・翻訳等への協力

必要に応じた各種情報等の翻訳協力

商工課主催の技能実習生を対象とした事業への通訳の派遣

○県のワンストップサービスの機能、窓口の周知

○外国人児童生徒への支援協力に伴う関係機関との連携強化

(3) 情報収集提供事業

○広報「国際村だより」による情報提供

○インターネットホームページによる情報提供

講座やイベントの告知、報告など、最新情報を提供する。

国・県・市等から出される緊急情報について、「多言語」や「やさしい日本語」にして、ホームページ等で情報提供する。

○出羽庄内国際村の多言語案内パンフレットの配布

外国人相談窓口と日本語教室を案内するために作成した日本語を併記した多言語（英語・中国語・韓国語）案内パンフレットを、鶴岡市役所市民課

窓口及び国際村窓口で配布する。

○多言語生活ガイドブックの配布

地域在住の外国出身住民向けに作成、生活をするうえで身近にある施設や制度、また、外国出身者として必要な情報を掲載したガイドブック及びマップを、鶴岡市役所市民課窓口及び国際村窓口等で配布する。

○外国人に役立つ情報の提供

◇観光ガイド「鶴岡」の多言語（英語・中国語・韓国語）版の提供

鶴岡市観光物産課で作成した観光ガイド「鶴岡」を基本とした情報を翻訳し、ホームページで公開する。

◇多言語防災ガイドブック配布・活用

様々な災害に備え、防災の基礎知識について記載したガイドブックをホームページ等で公開するほか、関係機関への配布や活用を図る。

対応言語は、英語、中国語、韓国語、ベトナム語、やさしい日本語

◇各種情報の多言語化への取組み

◇翻訳対応及び通訳者紹介等の協力

◇鶴岡市観光案内所での外国語対応の協力

#### 4. 国際村施設維持管理運営事業

出羽庄内国際村の施設管理運営については、適切な維持管理に努めながら市の指定管理者として、利用者の利便性、サービス等の向上が図られるよう業務を実施する。

施設の新たな有効活用として、主催事業を多元的に展開するほか、国際理解・多文化共生・SDGs 未来都市関連の事業に空きスペースの活用を図りながら、本施設が建設後29年経過しており、今後、施設の長寿命化を図るために、定期的な点検実績を踏まえて、段階的な整備について提案する。

#### 5. 法人管理運営事業

(1) 公益財団法人の運営

会計処理、情報開示、評議員会・理事会の運営等、公益財団法人としての適正な運営に努める。

(2) 賛助会員の拡大

○一般入会による加入

○せかいの台所入会による加入

○各種講座等受講者に対する加入の呼びかけ

※会費等

(年会費)	個人会員	大 人	3,000円/年
		高校・大学生	2,000円/年
		小・中学生	1,000円/年
	法人会員		10,000円/年
(会員特典)	・財団広報及び講座等の情報提供		
	・財団主催の語学講座等の受講料1割引		